

# 「新たな社会問題空間」としての被差別部落への転入と転出 —転入者・転出者へのヒアリング調査から探る人々の意識と諸課題—

## 【代表者】

齋藤直子 大阪市立大学 人権問題研究センター 特任准教授

## 【共同研究者】

神村早織 大阪教育大学 教職教育研究センター 准教授

森 実 大阪教育大学 教職教育研究センター 教授 (センター長)

## 【研究概要 (申請書より抜粋)】

人権問題研究センターでは、2015年から2017年まで科研費(基盤B 課題番号15H03410「新たな社会問題」空間としての被差別部落と都市下層の再編過程の研究)を活用し、大阪市内にある被差別部落におけるいくつかの実態調査をおこなってきた。

ひとつめの調査は、大阪市内にある被差別部落のうち8地区を訪問し、福祉をはじめとする地域の取り組みや、住民の転出入の状況などの聞き取り調査をおこなった。ふたつめの調査は、住吉区内にある被差別部落Sにおいて、公営住宅の全戸に対し「くらしのアンケート」調査をおこなった。3つめに、アンケート調査員担当者へのヒアリング調査を実施した。そして最後に、地域の各年代のキーパーソンをつうじた転出者の状況のヒアリング調査をおこなった。

この調査には、いくつかの研究課題が残されている。ひとつは、「くらしのアンケート」末尾に、ヒアリング調査に応じていただける方に連絡先を記入してもらっているが、この調査が未実施である。調査候補者のうち、部落への転入者へのヒアリングに重点を置きたい。ふたつめの課題は、部落の周辺地区に転出した人々のヒアリングである。Sでは応能応益家賃の導入の結果、所得が高いために公営住宅から転出し周辺地域に住宅を購入した人々がいる。かれらは解放運動の「地区外班」として、解放運動やまちづくりに関わり続けている。これらの人々に対してはすでにヒアリング調査の了承を得ているが、いまだ実行できていない。これらの残された課題を、本助成金を通じて、実施したいと考える。

申請者は、本研究助成を活用して、残された2つの課題に取り組み、その成果をさらに民間の研究助成や科研費の獲得につなげていきたいと考えている。

## 【研究成果（報告書より抜粋）】

本研究の目的であった被差別部落からの転出者へのヒアリング調査をすすめた。ヒアリングをすすめる過程において、「出身をうちあけること」や「孫にどのように部落問題を伝えるか」といった、コアになる質問が析出されていった。また、ヒアリングの過程において、「部落生まれの在日コリアン」や「部落内で働く在日コリアン」あるいは、「出身をうちあけたところ、在日コリアンであることをうちあけられた」といったように、うちあけをめぐるヒアリングにおいては在日コリアンであることをめぐるうちあけの問題も、ひとつの論点となっていた。

また、大阪教育大との連携としては、「同和教育」に関する部分のヒアリングの支援を受けた。

本研究のヒアリング調査から得られたデータを用いて、社会病理学会ラウンドテーブル（2018年9月28日）および日本社会学理論学会例会（2019年3月9日）にて、「うちあけ」をめぐる相互作用について、報告をおこなった。

また、本研究を先行研究として、2019年度から4年間の科研費（基盤研究C（一般））が採択された。

## 研究業績

※助成期間中に本研究課題を基に発表した著書、学術論文、学会発表、報告書等

著書名/論文名/発表タイトル 等	発表年	出版社名/掲載雑誌名/学会名等
『『関係ないよ』の意味するもの-部落出身者の『うちあけ』をめぐる』ラウンドテーブル「社会病理・社会問題研究の可能性Ⅱ」	2018.9.29	第34回日本社会病理学会大会、関西学院大学
「部落出身であることの「うちあけ」をめぐる相互作用とその外側」	2019.3.9	2018年度日本社会学理論学会研究例会、関西学院大学
Naoko Saito, Lukasz Czarnecki “Diáspora Vietnamita en el Mundo. El caso de Japón”, “Primer seminario de Estudios sobre Vietnam”	2018.9.5	第1回ベトナム研究セミナー、アジアアフリカ研究大学プログラム、メキシコ国立自治大学

## その他 ※特許、産学官連携、受賞、メディア取材など特筆すべき事項

2019年1月27日 ABDARC ～対鳥取ループ裁判支援サイト～主催「ブラトーーーク！」（会場 ロフトプラスワンウエスト）にて、部落問題の基礎講座や、部落出身の若者の対談の司会を務めた。

2019年3月18日、部落差別問題の現状について、朝日新聞記者から取材を受けた。すぐに記事にするための取材ではなく、5月3日の憲法記念日の特集記事のための情報提供の一部として取材を受けた。